

自民、項目絞り込み狙う

2022年の憲法改正論議は項目絞り込みへ進むかどうかが焦点だ。自民党は1月17日召集予定の通常国会で、衆院憲法審査会の開催頻度を高め、議論の進展を図る構え。

夏の参院選を制し、さらなる加速を狙う。立憲民主党は、改憲の是非を問う国民投票時のCM規制の法整備を先行させるべきだとして、自民主導の議論を警戒。憲法審の進め方を巡る溝は深い。

憲法審は昨年12月の臨時国会で実質討議を実施。参院予算委員会と並行した異例の開催を実現した自民は、通常国会でも開催回数を増やしたいと考えた。日本維新の会と国民民主党は毎週開催を訴え、後押しする。公明党を含む4党は論議ごとの分科会設置でも一致する。

自民執行部は、比較的リベラル色の強い派閥「宏池会」出身の岸田文雄首相だからこそ「野党の反発を招かず、改憲に近づくと期待を寄せる。ただ首相は昨年末、異例の出席となった党憲法改正実現本部で「党改憲案4項目は極めて現実的な課題だ。国会での議論と国民の理解が車の両輪になる」と議論を強く促した。党幹部は、参院選後でも衆院議員任期は残り3年超あるとして「参院選前は無理せず、勝利後、議論を加速すればいい」と語る。

憲法改正論議の行方

岸田首相、意欲鮮明に

「党改憲案4項目は極めて現実的な課題だ。国会での議論と国民の理解が車の両輪になる」と議論を強く促した。党幹部は、参院選後でも衆院議員任期は残り3年超あるとして「参院選前は無理せず、勝利後、議論を加速すればいい」と語る。

立憲は自民に対し、他の委員会への開催に際し「憲法審だけを動かすのは、国民をだまそうかとは不透明だ。議論進展を求める自民、維新、公明、国民4党が掲げる改憲項目には開きがある。参院選後、勢力構図が変わらなかつたとしても、国民の多くが納得する改憲案を見いだせるかどうかは不透明だ。

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲するため、

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

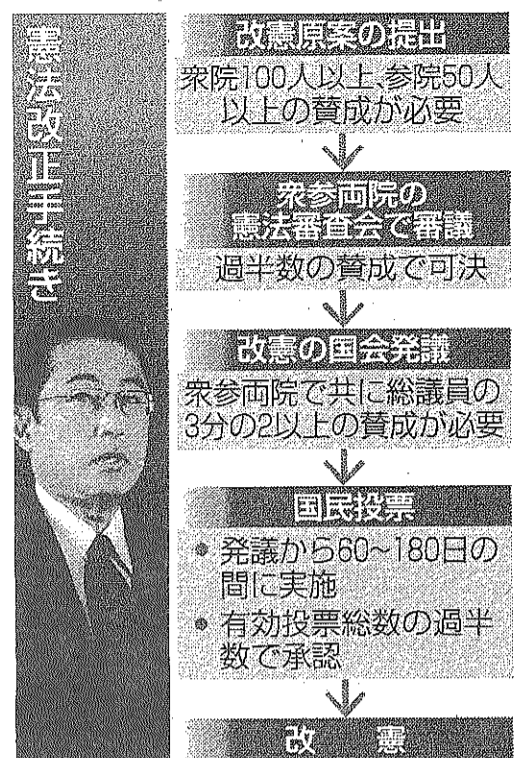
2013年	13回
14年	6回
15年	5回
16年	1回
17年	9回
18年	3回
19年	4回
20年	2回
21年	4回
22年	?

※第2次安倍政権以降

通常国会の衆院憲法審査会の開催回数



インタビューに答える、自民党の新藤義孝・衆院憲法審与党筆頭幹事



衆院憲法審査会の役割は政局から離れ、憲法議論を深めることだ。自民党は優先事項として自衛隊明記や緊急事態条項新設など四つの改正テーマのたたき台を出した。各党も提案してもらい、共通の理解が得られた項目は憲法審幹

改憲、実現の機熟した

衆院憲法審査と党筆頭幹事 自民・新藤義孝氏
昨年臨時国会で、2回の定例日はいずれも憲法審を開いた。通常国会でも冒頭から安定的な開催を働きかけた。衆院選を受け、同じ志と意見を共有する議員が増えた。改憲議論に大きな影響を与えたと期待する。

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

「論議」で拙速改正戒め

衆院憲法審 野党筆頭幹事 立民・奥野総一郎氏
立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

参院選と同時に国民投票を

衆院憲法審 野党筆頭幹事 維新・馬場伸幸氏
日本維新の会が掲げる憲法改正案3項目のうち、優先順位が高いのは教育無償化だ。経済的理由で進学できない子どもは多く、格差是正が必要だ。保護者の可処分所得が増え、消費につながる。子育て支援と経済成長をセットで実現できる。



インタビューに答える、立憲民主党の奥野総一郎・衆院憲法審野党筆頭幹事

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、

立憲民主党は憲法を論議する「論議」の立場だ。泉健太郎代表の体制に代わり、きちんと議論する姿勢を示すため、昨年の臨時国会で衆院憲法審査会の開催に促した。ただ拙速な憲法改正は戒めるべきだ。何が何でも改憲のため、